

王子ヶ浜小学校
学校だより第2号
令和8年5月7日

王子ヶ浜



〒647-0031 和歌山県新宮市田鶴原町 2-10-1 TEL:0735-22-8431 校長 山本 健一

5月に入りました

新緑が目に見え鮮やかな季節となりました。ゴールデンウィークを終え、校舎には再び子どもたちの活気ある声が響き渡っています。連休中、ご家庭でリフレッシュした子どもたちの表情からは、次の一歩へ向けた前向きなエネルギーが感じられます。

4月のスタートから1ヶ月。新しいクラスや担任にもすっかり馴染み、校内には落ち着いた学習環境が整ってきました。授業中、真剣な眼差しで学習に向かう姿や、休み時間に学年を超えて交流する姿など、さまざまな場所で「自分たちの居場所」を楽しむ子ども達の笑顔が見られます。私が教室をまわる際、誇らしげに学習の成果を見せてくれるその姿に、順調なスタートを切れた手応えを感じています。

ここからは腰を据えて、授業や活動時に、「身を乗り出して話を聞き、話をする。自らの話題を進んで書き、行動する」子ども達がたくさん現れるよう、教育活動の充実を図っていきたいと考えています。



学級委員任命式

4月17日（金）に学級委員の任命式をTV集会で行いました。任命証を渡しています。私からは「昨年度、せっかく良いアイディアを思いついて声をあげてくれたにも関わらず、いつの間にか話が消えてしまって、結局どうなったのかも分からないことがいくつかありました。それがとても物足りなかったです。いけないことをして先生を困らせるのではなく、「こうしたい!」と思うことを意図やねらいを持って先生にぶつけ、そのことで先生を悩ませるようにしてほしい。」という話をしました。

先生方にも、「子ども達の声の形にする学級活動」の充実をお願いしています。子ども達から発信される学校自治活動が進んでいくことを期待しています。

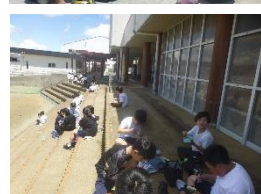


1年生を迎える会・春の遠足

4月22日（水）は児童会主催の1年生迎える会。1年生と6年生が手を繋いで入場した後は、全校児童で〇×クイズをしました。王子ヶ浜小学校・先生にまつわるクイズにみんな大興奮でした。2年生からあさがおの種のプレゼントをされた1年生。夏にきれいな花が咲かせてくださいね。

会の中で、児童会役員が話し合いを重ね、決定した学校目標「あいさつと感謝があふれ、みんなが笑顔で安全に過ごせる学校」が発表されました。この学校目標達成にむけ、児童会役員・学級委員を中心にした、より良い児童会活動が行われることでしょう。

春の遠足は4月24日、5月1日ともに天候不良、また現地の悪状況のため中止としました。本当に残念でなりません。しかしながら、お弁当の時間だけでも楽しい時間にしたと考え、修繕を終えた中庭のデッキ、運動場の階段、屋上、教室等々で、美味しい楽しいお弁当タイムを行いました。お弁当を広げる子ども達の顔はとてもきらきらしていました。保護者の皆さまには忙しい中、2日間お弁当のご協力ありがとうございました。



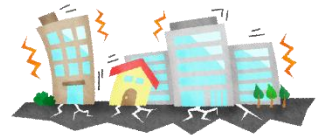
ご協力のお願い

地域の方から、「登下校中や休みの日の子ども達の叫び声が響いて辛い」「狭い道を広がって歩いていて危険」「危ないからと声をかけたときの態度が気になる」などのお話をいただいております。学校でもくり返し、指導と話をしているところですが、ご家庭でもお子さんと話をする機会を設けていただけると幸いです。「地域あつての学校」です。子ども達のより良い学校生活のためにも、ご協力をお願いします。



地震による被害はなかったでしょうか

5月2日(土)の18:28ごろ、奈良県を震源地とする地震がありました。GW中に鳴り響いた緊急地震速報に驚かれた方も多かったのではないのでしょうか？新宮市も震度4を観測する揺れとなり、久々の大きな揺れに不安を感じられたと思います。



私は三重県松阪市内を運転中でしたので、けたたましく鳴るスマートフォンの緊急地震速報のアラーム音と、地域防災無線での放送に車を止め、その後の状況によっては次の避難行動をどう取るかを考えていました。ほどなく、津波の心配がないという情報と私の周囲に大きな被害がないことが分かりましたので、新宮市教育委員会や教頭先生、教職員等に連絡をとり、新宮市近辺の地震時の様子と現在の状況とを確認しながら対応する形になりました。新宮市にも大きな被害がなく、市の対策本部も20時前に解散となった連絡を受け、胸をなで下ろした夜でした。(王子ヶ浜小学校にも被害はありませんでした)

連絡を取った教職員の中には、すぐさま高台へ避難した職員や外出先での地震に不安を感じていた職員もいました。保護者の皆さんのご家庭ではどうだったでしょうか？被害はなかったでしょうか？職員同様、高台等へ非難されたご家庭もあったかと思います。

子ども達はどうでしょう。すぐさま机の下等で身を守る行動が取れていましたか？お家の方の指示に従った行動ができていたでしょうか？学校での避難訓練や防災教育等での学習は、このような有事の際に活かされていないと意味がありません。緊急地震速報のアラームが鳴ったとき、地震発生その瞬間、その後がどうだったのか、担任から聞いてもらおうと思います。

このところ、大きな揺れとなる地震が日本国内でも多く見られ、気になっています。当地方は、南海トラフ地震等の大きな地震が発生する可能性のある地域ですから、日頃からの備えがとても大切です。学校でも学期に1度、避難訓練と防災の授業を年間計画に組み入れています。その時が来ないでほしいと願いますが、万が一の際には「自分の命は自分で守る」ことができるよう防災教育を進めて行きます。ご家庭でも、大きな地震の際に逃げる場所、持っていく避難袋のある場所、新宮市の津波避難施設など、子ども達も含めて確認しておいていただけると幸いです。

